

令和3年度 春季休業期間中の家庭学習の取り組み

教務部 学力向上推進担当

1. 春季休業の学習結果

(1) 学習時間 (11日間)

学年	目標時間	学習時間	春季達成率	前年度冬季達成率	前年度夏季達成率
1年生	22時間				
2年生	33時間	27.7	83.3	124.2%	105.6%
3年生	44時間	38.2	84.1	87.7%	80.4%

(2) 明けテスト

学年	国語	数学	英語	社会	理科	春季平均	前年度 冬季平均	前年度 夏季平均
1年生								
2年生	68.3	68.8	82.2	72.7	58.5	70.1	63.8	68.5
3年生	61.8	70.8	42.9	57.8	70.8	60.8	64.2	65.5

青字は5ポイント以上の上昇 赤字は5ポイント以上の低下

2. 認定者

【認定者数】 2年生18名 3年生15名

認定基準

- (1) 学習時間の到達80% (1日あたり学年+1時間を基準)
- (2) 明けテスト各教科にて達成率80%の両方を満たすこと。

※ 合格者については、4/19(月)全校朝礼での発表と認定証を授与しました。

3. 結果の分析

- (1) 2・3年ともに学習時間の達成率が大幅に下落した。進級したことによって「学習時間を増やす」意識を高めることができなかつたと考えられる。1日あたり学年+1時間の目標時間を再度確認する。また学校・家庭が連携をして、「進級してから頑張る」ではなく、「進級に向けてしっかりと土台をつくる」意識をもたせることも重要である。特に3年生は進学に向けて、春休み中に学習習慣を確立することが急務である。
- (2) 2年生は、明けテスト4教科で前回は上回る結果となった。国語は、故事成語や百人一首の問題から漢字テストに戻ったことにより大幅に上昇した。英語もテスト範囲の不規則動詞については定着度が高いことがわかった。しかし漢字・英単語のみのテストであれば80%の達成度を目指したいところであるので、学習の徹底度をさらに上げてほしい。
- (3) 3年生は、英語で30ポイント下落している。教科書8ページの範囲から単語30問が出題される問題であれば80%の達成度を目指したいところである。課題設定→学習方法の確立→反復練習→自己確認テストという学習サイクルをしっかりと確立してほしい